

日本葬送文化学会30周年シンポジウム

終活ブームのつぎを本音で考える

「終活」後の不安を
感じた事がありますか？

※写真はGATAGのホームページに掲載された
40310より借用。http://free-photos.gatag.net/

学会オリジナルエンディングノートのお土産付き

日時：2017年5月7日(日) 13:30～16:00 (受付開始:13:00)

会場：毎日ホール 東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル 毎日新聞東京本社地下1階
(東京メトロ東西線 竹橋駅下車 竹橋方面1b出口)

主催：日本葬送文化学会

協力：聖徳大学生涯学習研究所

内容：21世紀の日本は、少子・高齢社会が同時に進行し、その解決策を示すことが緊急の課題になっています。そうした中「より自分らしい死を考える」ことを目的として、6～7年前より終活ブームが到来しました。しかし「自らが自分の死の担い手になること」「生命の大切さを改めて考えること」といった、本来の終活の意味から脱し、「単なる葬送の簡略化」に軸足を置いて展開されているように感じます。そこで、本シンポジウムでは「より良く生き、最期を迎えるために何が必要か」を、「地域とのつながり」「まちづくり」といった視点も交え、関連領域の専門家及びジャーナリストが一堂に会し議論します。あらためて終活について考えてみませんか？

参加費
無料
要予約
(定員180名)

 日本葬送文化学会 シンポジウム事務局

【申込方法】下記の宛先まで Email または FAX にて受けつけております。

※「氏名」「電話番号」「参加者人数」をお伝えください。

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 ウィズスクエア内

URL: <http://www.sosobunka.com/>  <http://www.facebook.com/sosobunka>

FAX: 047-387-0149 MAIL: sosobunka@gmail.com TEL: 050-3557-1155



日本葬送文化学会HP



日本葬送文化学会FB

シンポジスト紹介

1 八木澤 壯一 (やぎさわ そういち)

1937年、新潟県に生まれる。東京電機大学名誉教授、日本葬送文化学会顧問。

「火葬場」を建築学の分野から研究し、工学博士の学位を取得、「火葬場を中心とする葬祭施設に関する一連の研究」で日本建築学会賞を受賞。

『妙有院・新潟県巻町』『京都中央斎場・京都市』『しづかの里・香川県三木町』『さざなみ浄苑・近江八幡市』など、多くの火葬場の建設・設計指導に携わる。共著には『火葬場・大明堂』『葬送文化論・古今書院』『吊う建築・鹿島出版会』『さざなみの譜・近江八幡市』など多数。

2 鶯飼 秀徳 (うかい ひでのり)

1974年、京都市右京区の浄土宗寺院に生まれる(1996年、浄土宗教師資格取得)。現在、東京都在住。正覚寺副住職。

大学卒業後、新聞記者を経て、日経BP社に中途入社。2012年から経済誌「日経ビジネス」記者に。北方領土問題、東日本大震災後の東北復興、島嶼問題など幅広く取材。

2015年に出版した『寺院消滅—失われる「地方」と「宗教」』(日経BP)はベストセラーに。同年10月、日比谷のフォーリンプレスセンターで記者会見し、英エコノミスト、ガーディアンなど主要紙が大きく報じた。

2016年には最新刊『無葬社会—彷徨う遺体 変わる仏教』を上梓。2017年2月、増上寺で養老孟司氏らとシンポジウム「無葬社会」に登壇。「現代社会と宗教」をテーマにして取材、発信を続けている。京都市民景観会議委員。

3 長江 曜子 (ながえ ようこ)

1953年、茨城県に生まれる。3歳まで石の里の笠間市稲田で育ち、3歳より日本最大の墓石卸売業者が集まる都立八柱霊園で育つ。

死にまつわるデス・ケアサービスの葬送アドバイザー(日本初のお墓プランナー)。世界45カ国を旅し、墓石・霊園行政研究、文化人類学的視点で比較研究すると共に、個人のお墓から霊園設計・納骨堂設計等ライフプランニングのアドバイザーとしても活躍している。なお、お墓の研究で学術博士も取得している。タイトルは『人間死後生活空間としての墓地の永続管理に関する研究』。2016年『世界お墓文化紀行』(誠文堂新光社 監修)を刊行。

現在、聖徳大学児童学部児童学科教授、日本葬送文化学会会長、聖徳大学生涯学習研究所所長、聖徳大学オープン・アカデミー校長をつとめる。

コーディネーター紹介

4 滝野 隆浩 (たきの たかひろ)

1960年、長崎県佐世保市に生まれる。1982年、防衛大学校を卒業。翌年、毎日新聞社に入社。甲府支局、社会部、「サンデー毎日」編集部、夕刊編集部、前橋支局長などをへて現在、社会部編集委員。毎日新聞朝刊で「身じまい練習帳」を連載(隔週)中。著書に「宮崎勤精神鑑定書」「自衛隊指揮官」(ともに講談社)、「自衛隊と東日本大震災」「沈黙の自衛隊」(ポプラ社)、「自衛隊のリアル」(河出書房新社)など。



交通のご案内

<竹橋駅からの場合>

- ①東京メトロ東西線 竹橋駅 下車
- ②ホーム中程の階段 竹橋方面 1b出口 (直結)

<神保町駅からの場合>

- ①東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄新宿線・三田線 神保町駅 下車
- ②小学館、共立女子学園、如水会館方面A8出口から白山通りを竹橋方面へ 徒歩5分